

まろにえ会



花咲くマロニエの枝 ゴッホ作



25周年 記念誌

記念誌目次

『まろにえ会』25周年を迎えて	．．．．．	第七代会長 恩田宏三	2			
25周年記念誌への全員寄稿に寄せて	．．．．．		3			
会 員 寄 稿 文						
	根本孝道	高橋渡喜雄	菊池節子	北詰次男	．．．．．	4
	中村敬子	藤原拓輔	八重樫芳男	山口 寛	．．．．．	5
	吉田ヨネ	渋谷文子	小島明儀	篠原公子	．．．．．	6
	今出美知子	川上高弘	中村 浩	道下末男	．．．．．	7
	満田征治	松田弘美	内田 孝	佐藤輝子	．．．．．	8
	白井 隆	井山 孝	加藤啓一	長澤昭洋	．．．．．	9
	工藤元昭	早川健一	村本 弘	小川マレ子	．．．．．	10
	篠原 恒	大友文子	恩田宏三	黒須淳一	．．．．．	11
	古賀秋生	堀 久子	和久井 繁	鈴木邦彦	．．．．．	12
	関 保國	石黒庄司	後藤志郎	塩谷匡子	．．．．．	13
	江澤ゆり子	大場宏悦	片寄賢二	諧 隆雄	．．．．．	14
	黒須愛子	園田 武	村本淑子	青木哲夫	．．．．．	15
	金子愛子	細川浩之介	堀内和男		．．．．．	16
	向田良子	新井晃司	河村芳雄	辻本健一	．．．．．	17
	吉田敏洋	大出笑子	小林信行	関口 巴	．．．．．	18
	藤本祐司	松本きよ子	島田美恵子	林 博	．．．．．	19
	山本二三男	滝澤與司夫	原 幸男	新井 良	．．．．．	20
	佐藤アサ	小松秀行	斎藤邦弘		．．．．．	21
資 料 編	1.会の活動（直近5年間）	．．．．．				22
	2.親睦事業（直近5年間）	．．．．．				23
	3.会員数・定例会出席率	．．．．．				24
	4.歴代会長	．．．．．				24
	5.直近5年間の役員	．．．．．				24
会 員 名 簿（令和2年3月31日現在）	．．．．．					25
編 集 後 記	．．．．．					26

『まろにえ会』25周年を迎えて

第七代会長 恩田 宏三

このたび まろにえ会が設立25周年を迎え、数多くの皆さんとともに祝えることは、本当に喜ばしいことです。『まろにえ会』は、彩の国いきがい大学伊奈学園第4期卒業の8名の先輩の方々が立ち上げた会です。学園の卒業後に「地域社会に貢献する」という基本理念を実践する組織として、平成7年4月に『まろにえ蓮田』が発足しました。



それから25年、最初のころは 小人数での活動でしたが、諸先輩は、伊奈学園での貴重な経験・体験を活かし、地域で活動することを 努力されたようです。当時は、体の不自由な方の車イス介助や移送手伝いなどが、活動の主体であったそうです。平成12年の介護保険制度の導入を機に 奉仕活動の内容を大きく変え なおかつ拡大しながら、今日に至りました。

また、活動地域も、蓮田市から一部白岡市、さいたま市、上尾市、宮代町などに広げたこともあり、平成23年4月には『まろにえ会』と会の名称を変更いたしました。

『まろにえ会』の活動として 子供たちとの「昔の遊び」や「物づくり」、保育園でのスキップ、病院でのお手伝い、高齢者施設での「墨絵教室」などを行ってきました。お年寄りの方や子供たちの笑顔が、私たちの喜びとなっております。一人暮らしの高齢者に配る「絵手紙」は なんと23年も続いています。

その他 音楽の好きな会員が集まってつくった“アンダンテまろにえ”は 介護施設や地域の敬老会などで楽器の演奏とともに一緒に歌を歌い、おおいに感謝されています。

ところで まろにえ会は 今大きな課題に直面しています。まずは『まろにえ会』の誕生母体となった「いきがい大学」がこの春「埼玉未来大学」と変わったことです。

まだ「埼玉未来大学」の方向性が 不透明で判断しにくいのですが、その機能・役割も従来とは大きく変わることに 違いありません。

また新たに新型コロナウイルス感染騒ぎが勃発し 我々のボランティア活動にも多大なる影響を受けておりますが「かけがえのない普通」ということが 本当に大切です。

設立25年を迎えることが出来ました。次の30年、40年に向けて会を継続発展させるには 会員全員が一緒になって 新たに生じる諸問題を一つ一つクリアーし 進むことが必要となってきております。

最後に、25周年にあたり『まろにえ会』を導いていただいた諸先輩の方々に大いに感謝するとともに、「ますます」「ろうごを」「にこにこ」「えがおで」の“まろにえ”のネーミングのように、明るく元気で いつも笑顔のあふれる活動を末永く続けようでは ありませんか。

25周年記念誌への全員寄稿に寄せて

今回、記念誌作成に当たり、まろにえ会会員みんなの記念誌ということであれば、全員が文章などを載せることが最もふさわしいと、私たち記念事業部会は考えました。

そこでハガキ大のキャンバスに自由なテーマで文字だけにはこだわらず、絵、写真など何でも構いませんということにしましたが、却って皆さんは「何を載せようか」と戸惑ったかもしれませんね。

そして集まった原稿、これがまさに多様、また限られた紙面でしたのでエッセンスを込めて戴いたようです。

覗いてみますと、学園生活の思い出、まろにえ会での喜び、ボランティア活動に寄せて、郷愁、人生訓、趣味のこと、戦時下の記憶、亡き肉親の回顧、旅を綴って、現在の心境・・・などエッセイ、俳句、川柳、イラスト、写真なども交え、皆さんの思いがいっぱい詰まったものとなりました。

今回の寄稿内容はお一人おひとりの思いの大切な記録になると共に、まろにえ会としての貴重な財産になると思います。

あらためて皆さんに感謝いたします。



平成6年卒 根本 孝道

7 保育園と市役所で下の鉄道模型を年度毎に変えて走らせ早6年園児たちに大好評大はしゃぎ「ミニ鉄道模型博」はやぶさとこまちやがてはやぶさは札幌まで延伸北海道新幹線となります東日本豪華寝台列車四季島です東日本



令和2年度走らせるミッキーマウス掲示の新幹線11月までは走ってた九州新幹線

この列車の模型は走らせてない横浜～下田間を走ってるロイヤルエクスプレス

平成9年卒 高橋 渡喜雄

戦時体験とハワイ

日本軍によるハワイ真珠湾攻撃で不幸な戦争が始まった16年12月8日小さい子供の頃の丸の山旗をふって軍歌を唄いながら万歳を三唱して駅まで兵士を送った戦況が悪かった。19年国民学校4年生だった。学校へは防空頭布を被って登校した。授業は軍国主義教育が行なわれ、防空演習や銃剣術もやった。B2やP51による本土空襲で東京の空が危なくなった警報が発令されると急いで家へ帰らされた。灯火管制の夜探照灯の青白い光が窓に映ってふとんを被っても怖くて朝まで眼をこらした。午前中急に空襲警報のサイレンが鳴った飛行機の音が聞こえると、いっせいに高射砲を撃ち始めた。その凄まじい音が続いた。地面が揺れて窓ガラスが割れた。爆弾が落ちたらいい人を殺す戦争の音はとまらぬ恐怖だった。食べるものが酒を給では足りず食堂に雑炊を買うのにナベを持って行列に並んだがよく売り切になった。9月親元を離れて新潟の山の中に学童疎南をした。食料事情が悪い中子供達の集団生活は大変だった。しかし後で良い経験になった。20年11月東京に帰る3月10日の大空襲で下町は一面の焼け野原になった。終戦後学校教育が変わって教科書と自分の手で黒く塗り潰した。悲しい。食べるもの何もなく。生活の苦労は云うまでもないがよく生きてこれたと思う。世代です。平成8年2月寒い日本から常夏のハワイホノルル空港に着いた。明るくさわやかな風が気持ち良いサービスを受けてホテルへヒルトンレインボー2738の部屋に入り窓を開けると青い海と白い砂浜素晴らしい景色の展望夫婦で7月間の旅を楽しんだ。もちろん真珠湾も見学しました。

ボランティアの事

平成10年卒 菊池 節子

今から50余年前、東京江古田の社宅の近くに障がい者療育施設があり、介助者が沢山お世話をしていました。その中に当時世間を騒がせていた薬害による腕のない五体不満足なサリドマイド児を知り我が子と同年代の5.6歳とあって大変衝撃を受けました。

年を経て、筋ジストロフィーの子供達と関わる仕事に就き、ボランティア活動をしている人達との交流もあって自然体で加わる事が出来ました。又まろにえ会に入会して出来る範囲で参加できるようにしています。

伊奈学園の趣旨とするボランティア精神を忘れずに優しい気持ちを持ち続けていけたらと思っています。

平成12年卒 北詰次男

随筆

亡き妻を想う 一夫の独りごと一

84年の年を重ね、60年間連れ添った妻。

朝露の如く、流れ雲のように半年前儚(はかな)く消えた。

リュックを背負い、やや腰を屈め杖を頼りに来世に向かつて永い旅路を続けている姿が想い浮かぶ。リュックに何が詰まっているのか中身が気になる。キット夫のことは底の片隅、子供・孫のこと或いは知人・友人のことか？

一番考えられるのは2年間の学園生活、15年在籍したまろにえ会のボランティア活動のことだろうと想像がつく。それは妻が晩年何より生きがいにしていたことだから……。

恐らく来世に辿り着いたら、好きな民話、日本舞踊、俳句等で、多くの人と交流を始めるだろう。

又、SNSでまろにえ会の創立25周年祝賀会の朗報を知ったら「あなた早くいらっしやい、一緒に祝いましょう」と誘って来るだろう。

一ちょっと待って俺はこの世でまだやることがある一 誘惑を断る夫のひとりごと



平成14年卒 八重樫芳男
「少年時代の貴重な思い出」

それは戦争の思い出である。
昭和17年4月18日(土)正午頃、場所は東京都北区上中里2丁目のJR宇都宮線跨線橋を渡っていた時、東京の滝野川第五小学校2年1組の時であった。後方で大きな爆発音が聞こえ、直後私のすぐ頭上を米国の星型マークの鮮やかな双発爆撃機(B25)が飛来してきた。余りにも低空なので白人搭乗員のマフラーをした横顔が視認出来た。はるか上空で高射砲の炸裂音と煙が何発も見えた。機影が消えてから空襲警報のサイレン 完全な奇襲攻撃 東京初空襲の一瞬であった。因に学童の戦時服の胸には布製の識別票を縫い付けて着用(血液型、氏名、学校名、学年、組別を表示)あらためて平和であることがありがたい。



平成13年卒 藤原拓輔

「秩父歌舞伎に挑戦」
いきがい大学伊奈学園ふるさと伝承科に入学し課題学習として、おかぐら研究会を立ち上げ学友と秩父を中心に 県内に伝承されているおかぐらを見て歩いた。その縁で秩父歌舞伎と出会い学園祭で【白浪五人男】を仲間と演じた。私は赤星十三郎役を演じ好評を得た。

平成14年卒 山口寛
この頃思うこと
・早い 念が25周年で、つい20周年だった
思っていたが…時が…将に駆け行くよりだ。
・忘れ物を
1. この草稿文 今月の定例会で 提出された。
2. ノックンが止まらぬ。接続の20分程度は
キーボードを裏返しにしたり 乾電池が出ると
…これのあたりで、印刷しようとしたら、プリンターが
りやう。どうもドライバーが相合ない… 持ち直さず
・一打嬉しい
・火下に通る審判員に、山口さん80才を過ぎる様
ハイ… じゃ8020に推薦した。7月に春日部で
式典がある。同様、倉庫でできよ… センター。
・一打嬉しい
・日常であれやこれや 順序付けるのが少面倒だ。
・速文が落ちてきた。おマキで、下スカーフで。
・新機種のパソコンで出かけるのが、いらい
こうだった。せいぜい菜園の手造り 野菜に
根気を入れた精進をしよう。

ナニヤナニ / 伊奈の思い出 浜谷文子

「光陰矢の如し」というふうに日日月月の立つのは実に早くて
です。ボランティア活動も地域で長い間続けられてきました。少
少の文化を求めようが、大学に入学しました。当時は
バスもなく活動センターは自転車通学でした。
通学路は田畑の畦道で春は一面の緑、秋は黄金色に
染まる稲穂と四季の移ろいによって文化する田園
風景は私の大好きな通学コースでした。大学での
学びは心も心もこの出来は大切な思い出です。
又卒業後は定例会等で地域のボランティアの先輩の方々と交流を
深めることができて、今健康でボランティア活動出来ることか
らと誇っています。

平成14年卒 吉田ヨネ
25周年記念に思う。

会に入会して18年、発足当時の
諸先輩の方達が次々天国へ旅立た
れ、当初の意気込みも幾分稀薄に
なってきたように思うこの頃です。
学園の方針も年毎に変化する時流に
異和感を覚えます。与えられるより
与える喜びを、「情は人の為ならず」
ボランティアを行う為に自らの気
力、体力の維持に留意し参加出来
る事の喜びを体感する事こそ何よ
りの健康法と思うのです。高齢者
障がい者、又、これから世の中を背負
う子、孫の世代の育成の一助に加わ
る事が出来る事等こんな嬉しい事は
ありません。皆様も持つる力を発揮
して下さい。

平成16年卒 小島明儀

「まろにえ会」を振り返って

私が生きがい大学13期生（健康福祉科）を卒業
する時期は、蓮田と白岡が合併するとの時代背景が
あり、友達たちとも話し合い合併するのであれば
とゆうことで入会いたしました。
しかし入会後に合併が流れた事より友達たちは退会
してしまいました。
私は折角入会したのだからと会に残りました。
会では、病院関係・囲碁の対局・博物館の経験を
生かし勾玉づくり等を中心に活動してきましたが

【活動している中で】

- ◆障害者や難病のお子さんが懸命に生きている姿に感銘を受けました。
- ◆子供達には一生懸命に物の作りに取り組んでいる姿勢や喜んでくれる姿を見て、元気をいただきました。
- ◆健康で活動に参加できること、そしていくらかでも、社会に必要とされている人間である実感したこと。

等々、活動は自分自身の為でもあり、更には生きがいとなっていることも痛感いたしました。これからも健康に留意し、皆さんの協力と助言を得ながら活動に参加していきたいと思っています。

今日も 楽しく 元気で
平成十六年卒 篠原 公子
まろにえ会に入会して十数年になります、丁度、十周年の前の年
でした。健康福祉科を二年終えて、仲間入りさせて頂き何がなんだ
か解らないまま、先輩に教わりながら今までやってきました。
学園で学んだ水墨画が好きで、私なりに楽しませて頂き有り難い
と思っています。
市内のイベントや、保育園、学校、老人施設等に、参加して人
のふれ合いを大切に元気をもらい、自分のため、人のために健康な
限り続けたいと思っています。
ますます 老後を にこにこ 笑顔で

平成17年卒 今出 美知子

笑顔って素晴らしい



まろにえ会に入会して15年。健康で趣味やボランティア活動に参加できることを嬉しく楽しく過ごしています。幸いに高齢者施設、病院、学校、保育園などへ訪問する機会を頂き年配の方々からは尊いお話を伺ったり子供さんたちからは共に遊んで笑いや自信、譲り合い、思いやりの心を育む過程が感じ取れました。ある日の保育園で些細な事ですが私の膝を取り合い満足げに「にこっ」と微笑み抱きつきました。嬉しいですね。可愛い!!! 小学校の物作り終了後生徒さん全員で一人一人が姿勢を直し大きく口を開き堂々と歌ってくれました。その歌声はこれから大きく羽ばたき未来に綺麗な花をいっぱい咲かせてくれる事でしょう。感動しました。



平成17年卒 川上高弘

15周年とその後の自分

以前はまろにえ会の名簿を見てもいつも下から数えて何人目と言った将来期待に応えそうな新規参加者の位置にいましたが、いつの間にか時間が経ち名簿を見ても上から探す方が早い、そろそろこぼれ落ちても不思議ではない位置になりました。

まろにえ会に入って15年とはそのような時期に来るものですね。とはいえ、まだまだ皆さんとの濃密な接触関係は続けます。82歳から87歳くらいが平均的な男性の寿命らしいですが、確かにゴルフも年に数回が限度、ギターも左指の変形性関節炎でミスが出る、記憶力は衰える。高齢者は安全装置が設備された車でないと乗れなくなる。小生も今年からその仲間にはいますが、今のところゴルフもギターも車も囲碁も辞めなくてもよさそうなので、もうしばらく頑張ってみたいと思っています、勿論ボランティアも小生の趣味の一つですから続けます。

今後もどうか宜しくお願いします。

平成17年卒 道下末男

いきがい大学伊奈学園14期クラブ活動の思い出
各所属クラブ活動時の懐かしい写真・作品



ふるさと伝承科14期相撲甚句クラブ
東大宮敬老会出演



14期陶芸クラブ
黒泥柿落壺



14期墨彩クラブ
武家屋敷



14期イナパソコンクラブ
パソコン描画 初日の出

平成17年卒

中村 浩

まろにえ会在籍15年。

シナリオの無い我が人生劇場で

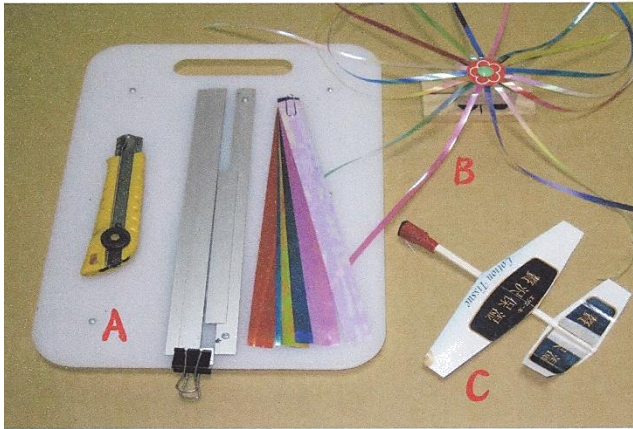
幕引きまで もう暫く

学習しながら 楽しく演技を

続けたい。

平成17年卒 満田 征治

まろにえ会に入会して15年がたち、当初は各種のボランティア活動に参加しましたが現在は参加することも少なくなりました。今までの活動の中で多くの楽しみと生きがいを持つことができました。



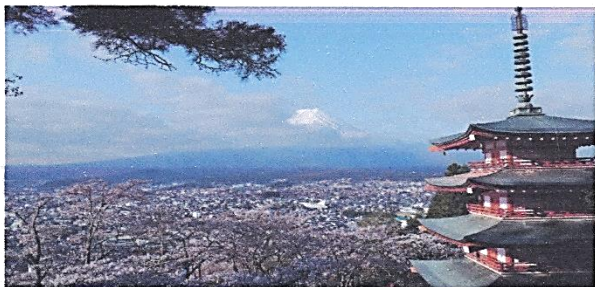
子供たちとの遊びや学習指導の中で、物作りのための前準備作業治具・製作治具やオリジナル紙グライダーを作りました。

A: くるくるレインボーのテープカッター治具及び B: 前作業治具・作製治具の製作。

C: 小学校の物作り学習のリーダーとして治具の製作と学習指導をおこなう。

あの人に逢いたいなあ
 そう思ってもらえる
 ような人間に
 なりたい！

平成18年卒 松田 弘美



冬はスキー
 春はさくら
 夏はふるさと
 秋はもみじ
 年中走り回っては
 定年後の目標で
 やり残して
 いることが！
 ワゴン車に女房と
 布団を詰め込んで
 日本一周を・・・
 未だ実現しない
 ほど不可能かな
 今どなっては？
 いつの日か出来る
 ことを夢みて

19年卒 内田 孝



平成19年卒 佐藤光輝子
 七き長男を偲ぶ(享年51才)

千葉大学を卒業後、我が家に戻り、サラリーマン2年目の夏休みに、モンゴルで恐竜発掘ツアーがあり、1週間かけ、ゴビ砂漠をシヤベルで掘るが出来ません。考古学博士が傍にいて、砂地を掘るといい、アドバイスがあり、掘っていたら骨に当たり、全身骨格が出ました(7フィス、カウルス) 帰国後、中里村に恐竜博物館を見学していたら、職員が辞めるので誰かに来てほしいと言われ臨時職員となり、学芸員の資格を取りました。2年後、皇太子が、日触機が御巢鷹山に墜落し、慰霊し、その後、恐竜センターに来館しました。お礼として、清酒をいただきました。瓶は今までも大切に保存しています。

平成20年卒 井山孝

人生訓

『人生はのろさにおれ
のろのろの蝸牛の
やうでおれ』

山村暮鳥

（人生がどこまでも尽きない道ならば
先を急ぐより、一度がぎりのこの道を
一歩一歩丹念に歩むほうがいい）



平成十九年卒業

白井 隆

「ふるさと」

信濃川まで自宅から百メートル中学までそこで泳いでいた。川の向こうに東山連峰が大きくゆったり見える。雪が降る。大雪は二メートルを超える。土手でスキーを滑る。通学路 駅まで三十分周りは野原白一色道は一本、前の人の足跡を踏みながら黙々と一人で歩く。帰路前方に雪の東山連峰が夕陽を受けて輝いている。故郷はいいなあ！

平成20年卒 加藤啓一



私の宝ものだよ

写真は、保育園「おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう」で、園児からのプレゼントの数々、いつの間にか60を超え、専用の壁掛けもいっぱいになりました。園児と楽しい時を過ごせる仲間達もすばらしい宝もの。これからも健康で、「宝もの」をもっともっと増やしていきたい！

平成20年卒 長澤昭洋

昔話を語って

いきがい大学卒業時に「民話の会 どんとはれ」を、故的場さん達と結成、爾来、昔話を語ってボランティア活動をして来ました。

昔話には同じ内容の話が色々あります。桃太郎でも全国30余箇所伝わっています。お婆さんが洗濯していると桃が流れて来たので「あっちの水は辛いど、こっちの水は甘いど」と呼びかけると桃が寄って来たとか、お爺さんが便所の屋根を修理していたら落っこちて、糞だらけの着物をお婆さんが洗濯していたらとか、桃を包丁で切ろうとしたら、内からチョット待ったと声がかして桃が割れて赤ちゃんが出てきたとか、お爺さんとお婆さんが一緒に桃を食べたらドンドン若返ってお婆さんが赤ちゃんを産んだとか、同じ桃太郎でも色々あり、面白いですね。

そんな昔話を、ディサービスとか、小学校とかで聞いて貰っています。

これからも続けられたらいいなと思っています

平成 21 年卒 工藤元昭

「令和を生きる」

今年は令和 2 年・西暦 2020 年です。スポーツの祭典、東京オリンピック開催の年でもあります。スポーツを通じて人々が心をついに争いのない平和な世界であることを願います。

昭和・平成・令和の 3 時代を生きてきましたが、今年、傘寿を迎え 80 歳になります。今日まで元気で来られたこと幸せに思っています。

これからの人生は、人生の後半を歩むことになります。人生には限りがあります。仕事は卒業しました。趣味である「ハーモニカ・囲碁」を楽しみながら、人との出会いを大切に、一日一日を日々輝いてゆきたいと思えます。



「我が人生悔いなし」と思える人生を送りたいです。

『教育』『教養』をありがとう！！

21 年卒 早川健一

まろにえ会に入会して 11 年、最近手帳の予定表に 1 日空欄の日が増えてきた。「アンダンテまろにえ」の練習や演奏などの他、代表としての用はやらせていただいているが、まろにえ会やその他のボランティア活動が減ってきたこと、まろにえ会以外の活動が減ってきたことが原因である。空欄の一日は、新聞や本を読んだり家庭内の雑用をしたり昼食を作ったりしているが、充実感がイマイチである。11 年間「教育」…今日行くところがある、「教養」…今日用がある、をまろにえ会から沢山いただいていたが、これが元気であるために必要だということを感じている。まろにえ会がこれからも継続・発展していく中で、



私もできることはお手伝いさせていたが元気でいたいと思っています。

まろにえ会 十五周年記念の余興に出演するため誕生した楽団 アンダンテまろにえ、早いもので十年がたちました、音楽の知識など無い私が、仲間に入れてもらい様々な場所で練習し、たくさん施設に訪問しました、毎年入会するかたがたは音楽の基礎も出来て頼もしい限りです、新しい曲も増えて皆さんについて行けるか不安です。会員数も当初の五倍になりまろにえ会のサークル活動としてますます発展してくればと会員の一人として思っています。

おもいで
平成 21 年卒 村本 弘

平成 22 年卒業

小川マレ子

入会させていただいたのが 10 年前!!

ま
マイペースで
ボランティア

参加出来る曜日が限られ
出席回数が少ないので～
心苦しいです。

ろ
老後も元気で
ボランティア

に
ニコニコ笑顔で
ボランティア

絵手紙作成に参加させて
いただいているのですが～
なかなかうまく描けません。

手作りの玩具にビックリ!!
私が参加した牛乳パックのキュービック、フィルムケースのお雛様。万華鏡や勾玉等々
25 年積み上げた財産、この先も大事に伝承したいです。

え
永遠に続く
ボランティア

平成 22 年卒 篠原 恒

「また来てね」

ボランティアに行き、帰りがけににっこり微笑み、手を振りながら「また来てね」とおっしゃっていただいた時に、「楽しいひと時だったんだ、満足していただいたんだ」こちらも「また来ますよ」と、正にやりがいを感じて、ルンルン気分での帰路である。

会員が心一つにして取り組む良き伝統があればこそ成せるのだと誇りに思っております。

当然のことではありますが、ボランティア活動実施に当っては相手が望むことを受け止められるよう、周到な事前準備をして臨んで初めて喜んでいただけ合格点がいただける。

我が会は、創立以来 25 年の長きに渡り磨き上げたノウハウを引き継いできたから今があるわけです。

活動への積極的参加が世の為、人の為だけでなく、自分の健康維持はもとより心を豊かにしてくれて人生 100 年時代の一番に位置付けて、これからも微力ではありますが皆様と一緒に頑張っております。

よろしくお願いいたします♡

23 年卒 大友文子

「青いケシとの思い出」

NHK のシルクロードで孤高に咲く青いケシに憧れ、数年後四川省の高地を巡る観光で青いケシに出合った。



4000 m の羽楼峠はバスで登りそこは一面の放牧地だった。7 月末の雨の降る寒い日で広

い放牧地の何処かに咲くケシを求めて牛を避けフンに注意しながら歩き回り、やっと水滴を含んだ青い花びらを目の当たりにして、そのまま帰国かと不安がよぎった矢先に、一心な思いが叶い嬉しかった。日本ならロープで囲い保護されるのに、ここは牛に踏まれながらの共存共生でありその姿は健気で愛おしかった。今は日本でも見られる青いケシだが、そこでは厳しい風雪に耐え逞しく芽吹き開花した、あの凛とした涼やかな色彩のケシはまさに高嶺の花だった。

23 年卒 恩田宏三

【私の 3 大目標】

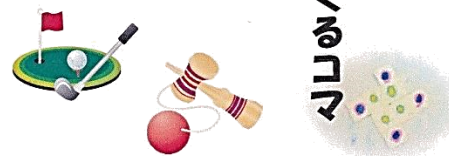
- 1) 生涯学習—「我以外皆我師」の精神
- 2) 生涯ボランティア活動
- 3) 生涯^{がくれき}楽歴づくり

・一生涯にわたって活動していくためには、健康寿命を延ばすことが肝要です。

「明るく 元気で 前向きに！」をモットーに何事にもチャレンジしていきます。

平成 23 年卒 黒須淳一

フンフンとまろにえボラでつくる「ママ
学童とベーゴマけん玉 夏休み
親睦のグラウンドゴルフ 初優勝



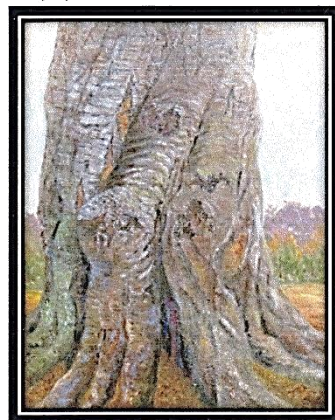
23年卒 古賀秋生

”第二の人生”

2008年の6月末で退職し今後どうするかとなったとき会社人間の私には 何の計画もなく途方に暮れる時県民活動センターに行ってみればの提案を受け県活センターへ行く。その時ボランティア・NPO講座の募集中で9月～11月 までの講座を受講しその時東埼玉病院での車椅子クリーニングを体験し現在も継続している。同時にいきがい大学の募集も目にとまり2009年の4月からいきがい大学の福祉環境科に入学しここでもいろいろと学び2年時には3班に分かれてチームをつくりその中の”ゆうゆうイレブン”に属し現在も大宮にある特養にボランティアの登録し年間の行事の夏祭りや車椅子クリーニングの活動を継続している。またクラブ活動はテニス部に所属したがテニスはそこそこで”安来節”の先生がいるということでどうしようもない覚えいろいろな施設の要望を受け公演に参加している。卒業後はある先輩の勧めで”まろにえ会”に入会ができたくさんの先輩方や友人に恵まれ有意義な活動ができ現役時代とは全く予想できない人生を歩んでいる。本当に幸せな人生だと感謝しかない。これからも皆様のご指導を受けながら継続できることを祈り歩んでいきたい。

平成23年卒 堀 久子

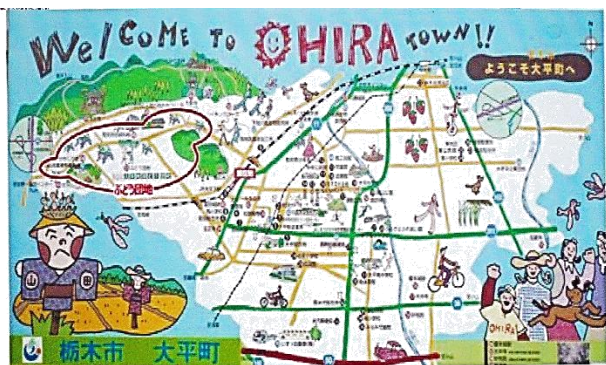
生きがい大学美術工芸科で、初めて油絵の手ほどきを受け、卒業後仲間と共にサークルを立ち上げ、描いてきました。挫折しそうになりながら、県展入選を目標に続けてきました。これからも「継続は力なり」の言葉を胸に、楽しみながら描いていこうと思っています。



2018年県展入選 一樹 50F



2019年県展入選 再生を待つ 50F



平成23年卒 和久井 繁 ふねさどフォトヴォイス
私の生まれ育った故郷は栃木県の最南部にあり、蓮田市から北に約40キロ余りの位置にある山と川またみどり溢れる栃木市大平町です。日立製作所、いすゞ自動車の工場や下請け会社を中心に発展してきました。また、農業も盛んで西山田地区には「北関東最大規模の観光農園」と称されており巨峰をはじめとして多種多様なブドウを栽培し「大平のぶどうは、豊かな甘みが特長」と言われています。ぶどう園地内の観光ぶどう園では直売も行い、ハウスぶどうは6月から10月までブドウ狩りが楽しめる観光名所として定着しております。また、横堀地区には観光イチゴ園が散在しております。写真左上は国道50号線道の駅「思川」付近から、左下は七不思議大中正参道から、右上は大平山頂から、右下は私が毎年お世話になっておりますぶどう園です。

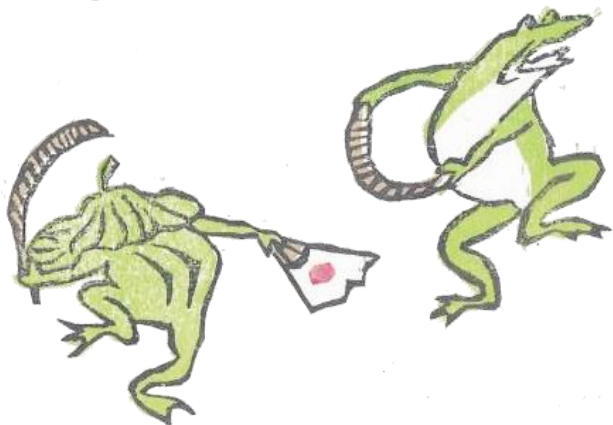
<http://architecture.sakura.ne.jp/mt/527/mt-1b.cgi/151>
www.cc9.ne.jp/~furusato_portalsite/index.html



平成24年卒 鈴木邦彦
韃靼の海渡るごと蝶々は山蒼穹に連なる先へ
秋月の曲輪の宴添えたきは幸若舞に青葉の笛か
ひとすじの光求めて湖に棲む盲の竜の哀しくはあれ
茜さす空の光を背に受けて豊穰の山いま青々と
密を食む鳥の声さえ秘めやかに花や主の庭にしあれば
水無月の秩父の里にみどり濃く巡りの古道妻と添い行く
古きより荒ぶる川といわれしも名のみ残せよそは鬼怒川と
渡良瀬の野焼きの煙濃く薄く子らを探すかよしきりの声
葉月の陽受けて弾いて落ちる滝残る暑さに涼の届けと
空の藍淡く染めおき竜胆はあの日につづく野の道に咲く
川の州に群れにはぐれて鴨一羽寂しからずや日暮れ迫るに
冬枯れの野面に風のいや増して渡りの前の百舌の高鳴き

平成 24 年卒 関 保國

玉すだれ
それとそれと
声かけあって
春と煮ぎ
笑顔が
つどう



介護施設でのボランティア喜ばれています
南京玉すだれの原形 鳥獣戯画より木版画

平成25年卒石黒庄司



平成 25 年卒 後藤志郎

＜私のカーライフ＞

最初の車がスバル 360
（中古）、3 台目がスバル 1100 スポーツで九州一周、8 台目のトヨタハイラックスサーフで北海道一周を、そして 12 台目のレクサスGS 350 で東北の被災地や中部・北陸路を走りました。今の車スズキスイフトまで、時代の話題車（13 台）で気の向くまま走り 50 数年、カーライフを楽しむことが出来ました。
家内は“無駄遣い”と酷評ですが、感謝々です。



スバル 360



スバル 1100



トヨタサーフ



レクサスGS350
茶色部分が津波の高さ

平成 25 年卒 塩谷匡子

年賀状

家族それぞれが木版画で作っていた時期もあった。今はパソコンで手抜き、ただ添え書きが大変。今でも 250 枚は書いている。

最近「高齢につき欠礼を」と寂しいお便りが多くなった。そんな中「年賀状が書けるということは幸せなことです。よろしく」とうれしい賀状があった。同世代の友人からは似たような体調不調が聞かれみんな同じだと安心したり、活躍ぶりが目に浮かびほっとしたり、年に一度の賀状交換を楽しんでいる。

ただ残念なことはボランティア活動をしている人が少ないこと。役に立つうちが花、元気で年を重ねることが願いです。



笑

顔

平成二十六年卒
江澤ゆり子

平成26年卒 大場 宏悦
∞この6年間を振り返って∞

楽しかった学園生活の卒業を間近かに控えた1月、役員が来て現会長が病気のため、自治会長をやってくれないかという話が、突然きた。卒業してゆっくりしようと思っていた矢先に、急な話だったので直ぐには返事はしなかった。
しかし、その後病気を押して会長が直々に談判に来たので、以前副会長の経験もあり、学園も卒業するので、良いタイミングと思い引き受けることにした。
早いものであれから6年、歳をとりました。最初のころは、積極的にさき先とこなしていたものが、最近では「間に合えばよい。」という考えになり、積極性が薄れてきました。
まろにえ会のボランティアも、参加したい行事はたくさんあるのですが、忙しくて参加できないのが現状です。囲碁の会が立ち上がるようですが、趣味の一つとして是非参加したいと思っています。
とにかく元気が一番！

平成26年卒 片寄賢二

タイトル 「ふるさと・ボランティア・まろにえ会」

私のふるすとは 福島県いわき市^{よつく}西倉という半農半漁の小さな町です。私の記憶に強く残っているのは、2011年3月11日の東北大地震です。TVで見る津波の様子は頭の中が「まっ白」になってしまうほど衝撃的なものでした。その時から「ボランティア」という言葉が私の中に刻み込まれていきました。いざいざ卒業後、すぐに「まろにえ会」に入会しました。南保育園の活動から、朝、駐車場片隅に隠れて一服している時、園長がお母さんに話していました。「今日、おじいちゃんとおばあちゃんだよ。」と。私、吾亦紅での活動では、早い時刻に施設に入ると、入所者の方が「今日は、どんな花を替くの？」と笑顔で話しかけてきます。まろにえ会の志を大率に、これからも活動してまいります。(了)

平成26年卒 譜 隆雄

『学園そしてまろにえ会』

私は専科3期(24年卒)「健康づくりコース」、23期(26年卒)「福祉・環境科」の3年間の学園生活を過ごしそして今、これまでの思いを拙ない十七文字に託して。

炎天下学園師との野外講
学窓に楓黄葉のシルエット
還暦過ぎ共同研究気も若く
学園のあの教室の懐かしく



退職後友増えるとは想定外
怖いものなしの軍団気は優し
ボランティアこちらが置き甚慰勞され
アンダンテ音を奏でて癒されて



音紡ぐ不協和音も愛嬌で
児童から無償の若さいただいて
竹馬の昔の杵柄忘れ去り
生活の核になったの例会日

了

平成 26 年卒 黒須愛子

2020 年は、まろにえ会 25 周年

(ますます・老後を・にこにこ(^^)・笑顔で)



東京オリンピック



1964 年 (昭和 39 年) 10/10~10/24

この年、高校 1 年生、午前中で授業は終わり混み合う列車のデッキに飛び乗り急いで帰宅、オリンピック開会式を、テレビで観戦、真っ青な空にブルーインパルスで五輪の輪、感動でした。そして 56 年後、再び



2020 年(令和 2 年)

東京オリンピック 7/24~8/9

パラリンピック 8/25~9/6



どんな歴史が残されるでしょうか。



人生。

まだまだまだ

もう少し

克己心 我慢

園田 武

「26年卒
女房に、「ボーツとしていゝんじや
ないよ!!」と言われ入くわい!!

平成 26 年卒 村本淑子

まろにえ会によせて

まろにえ会に入会し、
保育園、学校、老人施設
等ボランティア活動を通
し様々な方々と交流がで
きたことは、私にとって
貴重な経験となりました
これからもできる限り続
けていきたいと思いま
す。



平成 27 年卒 青木 哲夫

まろにえ会に入会して

伊奈学園 27 年 2 月の卒業直近の時期に、地区団
体相談会に当時の会の副会長が説明に見え、ま
ろにえ会の活動状況の説明を聞いて当日は入会
の手続きはせず、同級生たちにどこに入会す
るか相談しました。まろにえ会はボランティアば
かりできつよいと言われていましたが、伊奈学
園そのものが卒業後は地域のボランティア活動
を推奨している事であり、自分としてもボラン
ティア活動に興味もありましたので入会しまし
た。入会後の私のボランティア活動は保育園、
学童保育所並びに小学 3 年生への子供たちに昔
の遊びを指導しながら一緒に遊んですごしてい
ますので、ボランティア活動といえるかどうか。
子供たちが上手に作れ、上手く遊びができた
ときに見せる嬉しそうな笑顔を見ると、自分への
明日への活力を与えてくれたようで笑顔になり、
また次回も来ようかと思います。

平成二七年卒

金子 愛子

創立二五周年おめでとうございます

私は「まろにえ会」に加入して六年目になりますが
皆さまにお会いでき お陰さまで有意義に楽しく過

しています

これからもよろしく

お願いいたします



早春を告げる我が家のクリスマスローズです



平成27年卒
細川 浩之介

マロニエに参加して4年が過ぎました。
参加したのはついこの間の様な感じが
しています。

音楽グループのアンダンテに参加。昔、
遊びでギターを弾いた事が有ると話し
たところ、ギターGに所属。譜面が読め
ない私にとってはそこからスタート、さ
らにギター練習と体力・知力とも未知と
の遭遇の連続。

私より先輩方が頑張って演奏されてい
るのを拝見し。何とか先輩方について行
こうと必死に過ごした4年間でした。

平成27年卒 堀内和男

まろにえ会に入会して

まろにえ会創立25周年おめでとうございます

私は、まろにえ会に入会して5年になりま
すが、此の間、アンダンテまろにえ会の一員とし
てオカリナ演奏を楽しませていただいている。

ところで、今年は「喜寿」を迎えたが、幸い
心身とも健康に恵まれて頗る元気である。

先日、「喜寿」の祝いに妻よりオカリナをプレ
ゼントされた。

台湾のフォカリンク社製であるが、音色が良
いうえ吹きやすいところが大変気に入っている。

今後、アンダンテまろにえ会の演奏会の際に
は、このオカリナで皆さんに美しい音楽をお届け
したいと思っている。

平成27年度卒 向田 良子

「生きがい大学を通して得たもの」

仕事をリタイヤして後、郷土埼玉の歴史を学びたいと「生きがい大学」へ入学、それを通して新たな繋がり・活動の場を得てきました。大学の仲間との街道歩きは、中山道、日光街道を踏破し、現在東海道に挑戦中です。健康維持、特に骨密度向上のためのパドミントンはケガをしない・無理をしないに心がけ継続しています。頭の体操にと始めた俳句は6年目を迎え、どうにか人前で披露できるまでになりました。

- ・秋刀魚焼く太平洋の色のまま
- ・水に生き水に惨禍の秋の行く 良子

一方、まろにえ会の活動には貢献出来ておらず、心苦しく思っています。会員の皆様の素晴らしい特技や能力、そして高いボランティア精神には常に感服しております。今後も人との繋がりを大切に、そして何より自身の健康管理に留意して、楽しい余生を送りたいと思っています。

申し最むに来「顔な私懐定し
 し後たなるやがいがか例て伊
 上にびつ子「忘が活し会い奈
 げ、にて、紙れ何動いでた学
 た会、大手グら度する。合と園
 いを子声助ラれもる。唱すろを
 。運供上げイな挑昔の遊の
 営達げがダい戦の遊びは
 すとて必「もてび
 るふ遊要「の、は
 役れびなな「上「べ
 員あ出子、どづ手くー
 並つす、だく手りくゴ
 びて。で。りく「マ
 に良後も手は回ゴ
 会か日作先、つマ
 員つ届りが「た」
 のたく終器ブ時、最
 皆と感え用ンの子初
 様痛想るでブ子初
 に感文とすン供は回
 感ずを一ぐこの回
 謝る読緒出ま笑ら

ベ
ー
ゴ
マ
回
し
平成28年卒
新井晃司

28年卒 河村芳雄

まろにえの4年間の思い出

20周年記念の翌年に入会して4年が過ぎました。記憶残っている思い出を書きます。

1年目の頃

・蓮田南小学校で、あの頃は竹馬の補助ができ、女の子が乗ろうとすごく熱心だったのに驚き、幼い頃からの女性パワーの凄さを感じた。

最後にお礼に子供達全員の合唱があり、澄んだ歌声に感動した。

・レクの江戸城跡の見学では、今まで江戸城と言えば皇居としか思ってなかった者にとって松の廊下跡、300年の太平の世を築いた家康のこと

2年目の頃

アンダンテでマンドリンを無謀にもひとりで弾くことになり、50年前のつもりで、全くできず北上夜曲では恥ずかしい思いをしたこと。

3年目以降何となく過ぎましたが、

2年目からは4人となり、結局辻本さんに頼りきりとなってしまったこと。絵画も囲碁もできず力仕事くらいはできるだろうと思ってたが、今ではそれもかなわぬこと。ボランティアの事前準備と定例会の資料作成等役員の方々のご苦労。以上反省と感謝を申し上げます。

平成28年卒 辻本 健一

【想うこと】

いきがい大学生生活環境科に在学中、地域活動やボランティア活動ほか様々な分野で活躍される方が多いことに感心しました。卒業時に紹介のあった、【まろにえ会】は地元蓮田のボランティア団体でもあり自分も体験してみようと入会しました。

【まろにえ会】で活動してみるとやはり驚きと感動がありました。それは、<幼児から障害のある方や高齢者まで>幅広く活発に活動をしていることです。自分の年齢を省みず、熱意と誠意に溢れ、自分達も楽しんでいる姿に感動します。

25周年を迎えましたが、今後も地域に根付いたボランティア団体として活動するには、《会員の高齢化への問題、会員数の維持や活動内容の質の維持》が欠かせないと思います。

30～50周年と維持発展し継承出来ることを、願ってやみません。

～ 春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬 ～

28年卒 吉田敏洋

タイトル：楽しむこと

子曰、知之者不如好之者好之者不如樂之者

子曰く、これを知るものはこれを好むものに如(し)かず、これを好むものはこれを楽しむ者に如かず(及ばない)。

論語の中の言葉で楽しむには深い意味がありやりたいことをやるには辛いこともあるがそれも含め、精一杯やることを楽しむという。だから楽しむにはやっていることに對し何が良かったか悪かったかがよくわかるレベルになる必要がある(究極プロ)。オリンピック選手が“楽しんできま〜す”という言葉の意味は深そうだ。私はアンダンテなどでボランティア活動を楽しんでいるつもりでいるが果たして楽しめているだろうか？ きっと未だ好きにやっているレベルのように思える。ただ、まろにえ会はボランティア活動を25年間責任感を持って楽しんで来たんだらうと思う。

平成29年卒 大出笑子

70歳でいきがい大学絵画科に入学、

少し遅い入学でしたが、幸うじて平均年齢でした。

2年目の油絵科を経て卒業、充実した2年間でした。

卒業した後も、スケッチ旅行や作品展など仲間と楽しんでいます。

下の絵は、油絵を始めて10枚目の作品です。なかなか、上達しません。



平成29年度卒 小林信行

Aging Together 人生いろいろありました

私は1948年生まれ Baby boomers です。義務教育、高等教育どれも満員、就職も激しい競争で大変な時代でした。その上、戦後のどさくさ、貧しい時代でしたがその分、遅しさが育ったかな。今は、豊かな環境で、教育を受けられますが Over protective な保護者も多いし、イジメ bullying や差別 discrimination で不登校になってしまう子もいます。でも全体的には、良い時代になったと思います。今や日本は世界一の高齢化社会、人口の4分の1は65歳以上の高齢者です。私たち Baby boomers は、今まで苦勞した分、Positive thinking, で政治的にも経済的にも Powerful に、精神的にも健康で元気に quality time を過ごしたいです。「まろにえ」の皆さん、よろしくお願ひします。



平成29年卒 関口 巴

[25周年おめでとうございます]

30数年勤務を終え、地域の福祉活動にも10数年お世話になりました。

「よし！」学びの場へと・・・(いきがい大学)学園の居心地が良く3年間。良き友とも出逢え、年に2~3泊の旅にも出かけている。クラブのコーラスは、今も続けております。
・時間も多少の意欲もある今、何かを?? 高齢期を少しでも豊に過ごせたら・・・と、[まろにえ会・アンダンテ]に入会
・老人施設訪問では、我が往く道とも悟り心情さえも、考えさせられた事もあります。
・保育園・学童への訪問は、子ども達の可愛さで元気をもらい、心地良く帰路に。活動の張り合いと、楽しさも知りましたが、最近 身体(腰、膝)が思わしく無く、出来る範囲で 楽しく参加させていただきます。

平成 29 年卒 藤本祐司



平成 29 年度卒 松本きよ子

- ☆オカリナの上達！
- ☆一日 7,000 歩目指す！
- ☆病気に負けず平均寿命を目指す！

終わりよければ全て良し



アンダンテ頑張ります!!

30 年卒 島田美恵子



平成 30 年卒 林 博

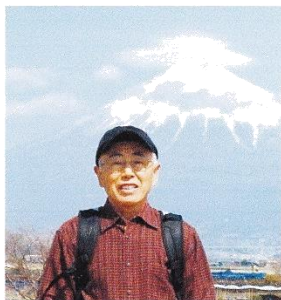
☆いきがい大学の仲間とともに☆

私は平成 27 年にいきがい大学鷺宮学園(39 期)、平成 29 年に伊奈学園(専攻 3 期みんなで歌おう科)に入りました。両学園とも卒業後のクラブ活動が盛んで鷺宮ではその後、史跡巡り、パトミントン、オカリナ、ハイキング、伊奈ではみんなで歌おう合唱団に加入し活動しております、そして、まろにえ会にも参加させていただきアンダンテやボランティアのまねごとを体験しております。「今日、用がある」「今日、行くところがある」を毎日の目標とし、これからも元気に過ごしていけるよう頑張ります。未来に向かって……。



紅葉の高尾山ハイキング

平成30年卒 山本二三男
私の故郷 富士山

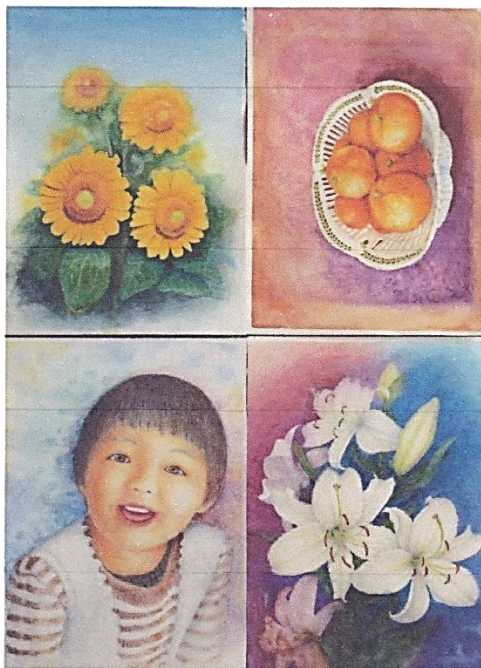


ご来光
ピッケル友に
富士の山

『遺影』写真に決めました。
いしがい大学17期東海道歩き撮影 下 河口湖



平成31年卒 滝澤與司夫
彩の国いきいき大学伊奈学園の思い出
70歳で水彩科入学、そして40年振りに絵を描きました。絵の好きな沢山の新しい友にも出会いました。



平成31年卒 原 幸男
まろにえ会に入ってから・・・

1. 始めたこと
 - ① ボランティア活動
 - ② ウクレレ演奏
 - ③ バドミントン
2. 学んだこと
 - ① 助力を求める
 - ② 無理をしない
 - ③ 我慢しない
3. 難しいこと
 - ① 良いと思ったら続ける
 - ② 悪いと思ったら止める
 - ③ ①②を続ける



平成三十一年度卒 新井 良
ギターを求めて五十数年
高校生の頃、空前のエレキブームで、当時、私もご多分に漏れずベンチャーズや加山 雄三にあこがれました。夏休みに一ヶ月、大宮のエンジン部品工場で買ったアルバイト代の大半、3000円で赤いエレキギター を買いました。嬉しくて、ギターと一緒に寝たものでした。それから五十数年、サラリーマン時代は中々ギターの時間が作れず、そして挫折もありました、上達しないのはギターが悪いからとの、信念から、エレキギター、フォークギター、クラシックギターと十数台のギターを買いました、いまだ納得の出来るギターに出会っておりません、本当はギターのせいでは無いのに、、、ヤダヤダ

灰鳥風月

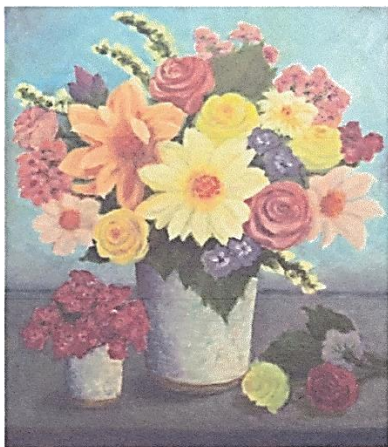
美しい自然を愛して

平成三十一年卒 佐藤アサ

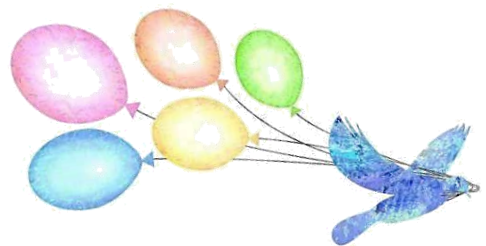
平成31年卒 小松秀行
ジョキさん を友として
題名の妙は、本人はジョキングのつもり
会う人は散歩していると見ている、造語
私の自慢は、そのジョキングコースだ
キャッチフレーズは
秩父の山々を背に
前に筑波、左に男体・右に富士
関東平野の田園地帯を踏み締めて
ペタン・パタンと万歩を数える
40年間の毎日のスタートは満員電車
今日のスタートはジョキサンから
との思いです

31年卒 齋藤邦弘

私は、いきがい大学伊奈学園の油絵科で1年間学び、クラブ活動では、オカリナを習いました。ボランティア活動に関しては、ほとんど知識も無く、いきがい大学で学ぶ中で初めて意識するようになりました。油絵かオカリナを活かせる場所を探し、まろにえ会に参加させて頂きました。現在は、「アンダンテまろにえ」で楽しくオカリナを吹かせて頂いております。子供たちとの音遊びやオモチャ作りでは、元気で一生懸命な子供たちに感動と元気ももらっています。25周年を迎えたまろにえ会が、これからもさらに発展し続けていく事を願っております。そして自分もできる範囲で活動を続けていきたいと思っています。



去年、義母の卒寿祝いに描いて送った絵です。



資料編

1. 会の活動（直近5年間）

年度	協力者数（名）				
	27	28	29	30	31
(1) 定期的活動（毎月） 絵手紙作成（吾亦紅AB オークプラザ） 子育て支援センター（おひさま） 絵手紙教室（フローラ蓮田） ものづくり手伝い（吾亦紅） 囲碁（聖蹟プライムコート）	767	750	770	709	658
(2) 保育園での活動（蓮田市内全7保育園） おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぼう（0～5歳児） 他の活動（クリスマス会他）	161	146	131	142	148
(3) 小学校・学童保育所での活動 ものづくり学習（黒浜西小他） その他の催事（中央学童保育所他）	167	176	181	179	139
(4) 東埼玉病院での活動 3階病棟（ゲーム補助他） 2階病棟（レクレーション他）	37	46	36	52	63
(5) フェスティバル等での活動 子育てでつながろうMiNiフェスタ	86	94	71	87	67
(6) ミニ鉄道模型博 蓮田市内全保育園及び市主催親子ふれあい村	—	—	57	74	53
(7) アンダンテまろにえの活動（楽しくハモろう） グループホームフローラ蓮田他 お楽しみ会他	238	319	277	177	216
(8) その他のボランティア活動 蓮田南小学校おやじの会、子ども祭他	46	41	46	71	44
(9) ものづくり講習会と事前準備会 社会福祉協議会 コップけん玉 万華鏡他	89	95	121	118	84
(10) アンダンテまろにえの練習会 中央公民館他 楽器演奏と歌の練習	—	85	620	600	616
(11) 親睦事業（まろにえ会独自事業）暑気払い他	141	192	191	193	200
(12) 会員定期総会	72	64	65	67	—

活動の主軸であるボランティア活動を通して、保育園児、小学生、学童保育児童、病院やグループホーム等でお過ごしの方など多様で幅広い年齢層の方々と交流できていることは、私たちの喜びです。理事会や活動の質向上のための「ものづくり講習会」や「事前準備会」等に会場を使用させていただいている社会福祉協議会にもお礼を申し上げます。2020年2月末に新型コロナウイルス感染症の問題が発生して、3月からの活動が大きく制限されました。

2. 親睦事業（直近5年間）

年度	実施日	事業内容	参加者	担当幹事
27年度	9月3日	暑気払い・そば打ち	31名	23年卒
	11月26日	ハイキング・平林寺	15名	27年卒
	1月25日	新年会・仁屋	42名	24年卒
	2月24日	旅行・JAXSA	33名	26年卒
	4月21日	グランドゴルフ	20名	25年卒
28年度	7月25日	暑気払い・徳樹庵	52名	24年卒
	9月27日	ハイキング・江戸城	26名	28年卒
	11月7日	グランドゴルフ	29名	26年卒
	1月23日	新年会・仁屋	46名	25年卒
	2月17日	旅行・上野鈴本	45名	27年卒
29年度	7月24日	暑気払い・上尾木曽路	45名	25年卒
	10月16日	落語鑑賞と浅草寺参詣	25名	28年卒
	11月29日	グランドゴルフ	31名	27年卒
	1月22日	新年会・米屋	51名	26年卒
	3月5日	工場見学・造幣局博物館	35名	29年卒
30年度	7月23日	暑気払い・米屋	54名	26年卒
	10月30日	グランドゴルフ	35名	28年卒
	11月27日	歳忘れバーベキュー大会	28名	29年卒
	1月28日	新年会・仁屋	48名	27年卒
	3月29日	蓮田の歴史を学ぶ・ランチ	28名	30年卒
31年度	7月22日	暑気払い・仁屋	52名	27年卒
	10月8日	グランドゴルフ	31名	29年卒
	11月26日	武州鉄道を歩く	26名	30年卒
	1月27日	新年会・信濃路	51名	28年卒
	2月26日	落語会・中央公民館	40名	31年卒

担当グループの工夫で、毎回バラエティーに富んだ親睦事業が行われ、会員への話題提供が活発になり、相互の交流に大きく役立っていると考えられます。31年度の落語会にはまろにえ会会員以外の参加者（28名、上表には算入していません）も募りました。

3. 会員数・定例会出席率

	会員数	定例会出席率
平成27.4～28.3	79名	75.50%
平成28.4～29.3	74名	78.70%
平成29.4～30.3	75名	80.30%
平成30.4～31.3	73名	80.50%
平成31.4～令和2.3	71名	82.20%

会員数はこの5年間70名台で安定しています。令和2年4月から「いきがい大学」が「埼玉未来大学」に改組されると、会員はどの様に変化していくのか、予断を許しません。また、定例会の出席率を見ると、全員の関心の高さが伺えます。

4. 歴代会長

	会長名（卒業年）	在任期間
初代	佐藤 知信（7）	平成7年～平成8年
第2代	根本 孝道（6）	平成9年～平成14年
第3代	清水 元太郎（8）	平成15年～平成17年
第4代	菊 正勝（14）	平成18年～平成20年
第5代	中村 浩（17）	平成21年～平成27年
第6代	加藤 啓一（20）	平成28年～平成30年
第7代	恩田 宏三（23）	平成31年～

5. 直近5年間の役員

（卒業年）

年度	会長	副会長	会計	監事
27	中村 浩（17）	加藤 啓一（20） 篠原 恒（22）	大友 文子（23） 黒須 淳一（23）	早川 健一（21） 堀 久子（23）
28	加藤 啓一（20）	篠原 恒（22） 恩田 宏三（23）	黒須 淳一（23） 江澤 ゆり子（26）	大友 文子（23） 鈴木 邦彦（24）
29	加藤 啓一（20）	篠原 恒（22） 恩田 宏三（23） 黒須 淳一（23）	後藤 志郎（25） 片寄 賢二（26）	塩谷 匡子（25） 大場 宏悦（26）
30	加藤 啓一（20）	恩田 宏三（23） 黒須 淳一（23） 鈴木 邦彦（24）	石黒 庄司（25） 園田 武（26）	後藤 志郎（25） 片寄 賢二（26）
31	恩田 宏三（23）	黒須 淳一（23） 鈴木 邦彦（24） 片寄 賢二（26）	辻本 健一（28） 藤本 祐司（29）	石黒 庄司（25） 園田 武（26）

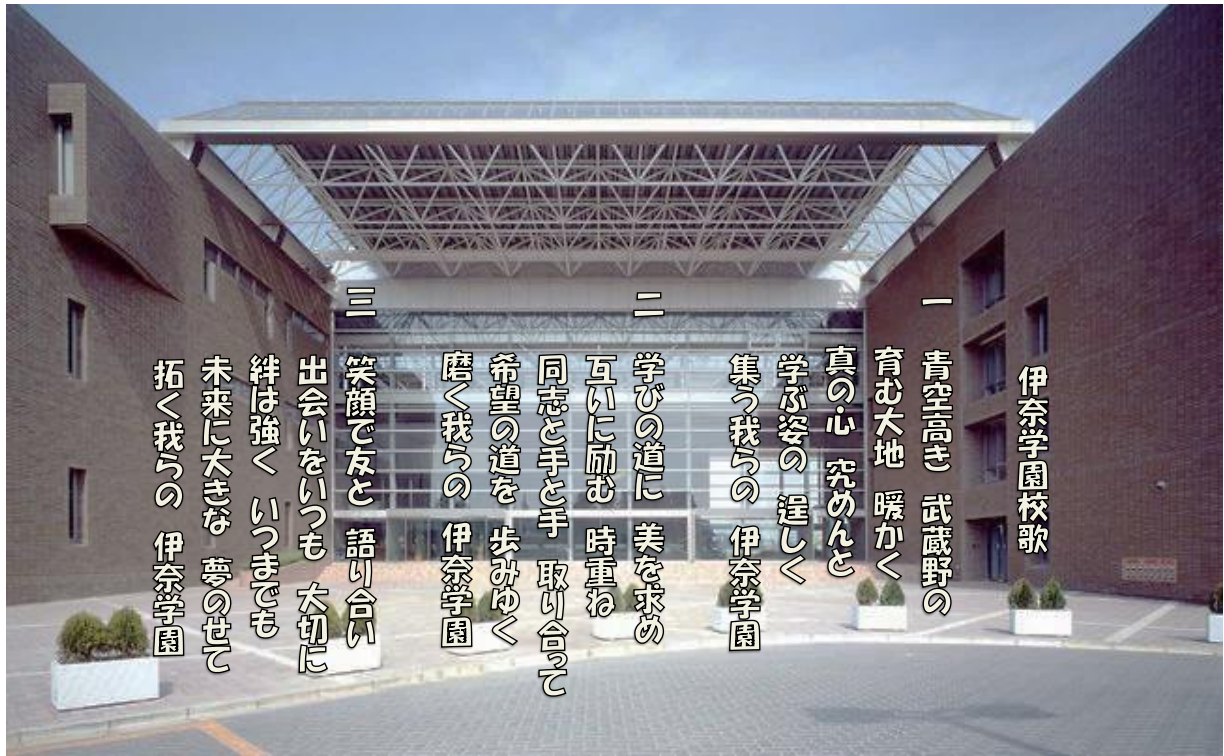
まろにえ会の活動は役員の方々の皆さんの献身的な努力のもとに成り立っています。改めて感謝いたします。

会 員 名 簿 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

卒年	氏 名
6	根本 孝道
9	高橋 渡喜雄
10	菊池 節子
12	北詰 次男
13	中村 敬子
	藤原 拓輔
14	八重樫 芳男
	山口 寛
	吉田 ヨネ
15	渋谷 文子
16	小島 明儀
	篠原 公子
17	今出 美知子
	川上 高弘
	中村 浩
	道下 末男
	満田 征治
18	松田 弘美
19	内田 孝
	佐藤 輝子
	白井 隆
20	井山 孝
	加藤 啓一
	長澤 昭洋

卒年	氏 名
21	工藤 元昭
	早川 健一
	村本 弘
22	小川 マレ子
	篠原 恒
23	大友 文子
	恩田 宏三
	黒須 淳一
	古賀 秋生
	堀 久子
24	和久井 繁
	鈴木 邦彦
25	関 保國
	石黒 庄司
26	後藤 志郎
	塩谷 匡子
	江澤 ゆり子
27	大場 宏悦
	片寄 賢二
	諧 隆雄
	黒須 愛子
	園田 武
	村本 淑子

卒年	氏 名
27	青木 哲夫
	荒井 大一
	金子 愛子
	細川 浩之介
	堀内 和男
28	向田 良子
	新井 晃司
	河村 芳雄
	辻本 健一
29	吉田 敏洋
	大出 笑子
	小林 信行
	関口 巴
	藤本 祐司
30	松本 きよ子
	島田 美恵子
	林 博
31	山本 二三男
	滝澤 與司夫
	原 幸男
	新井 良
	佐藤 アサ
	小松 秀行
	斎藤 邦弘



(写真：伊奈学園HP)

編集後記

まろにえ会 25 周年記念事業を行うことになり「25 周年記念事業実行委員会」が設立され、記念事業担当の「記念事業部会」として検討を始めました。

20 周年時の体験者も少なく、また 25 年と言う中間期でもあり、どのような記念誌が良いか皆で悩み考え、基本コンセプトを「会員全員参加の記念誌づくり」としました。

そこで会員の皆さんに、はがきサイズのキャンバスに自由な発想での寄稿文を書いていただくことで全員参加の記念誌としました。

会員の皆さまの個性あふれる寄稿文により楽しい、思い出の記念誌になったと思っておりますが、皆さん如何でしょうか。

まろにえ会活動の足跡としての、そして会員皆さまの思い出づくりとしての記念誌発行に参加できましたこと、また記念事業部会委員としてそれぞれ役割分担いただき、新型コロナウイルス騒ぎの中、作業に励み素晴らしい成果をあげて頂いた委員の皆さんに心から感謝します。

(後藤記)

《25 周年記念事業実行委員会》(敬称略)

委員長 篠原 恒 副委員長 黒須淳一

アドバイザー 中村 浩 加藤啓一 サポーター 恩田宏三 鈴木邦彦 片寄賢二

□式典・祝宴部会 部会長 青木哲夫
委員 江澤ゆり子 村本淑子 辻本健一 林 博

□記念事業部会 部会長 後藤志郎
委員 大友文子 塩谷匡子 諧 隆雄 藤本祐司 原 幸男



まろにえ会25周年記念誌

発行 令和2年(2020年)5月25日